

三越伊勢丹グループ 第3四半期決算説明会資料



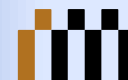
三越伊勢丹ホールディングス

2021年1月28日



- I 2020年度 第3四半期実績
- II 2020年度 通期計画
- III オンラインとオフラインのシームレス化 進捗

I-①連結業績



第3四半期（10月～12月）

■売上高は2Q(7月～9月)の前年比69.1%を上回る89.5%となり、改善基調

■販管費は、2Qの前年比83.2%(コロナ影響を除く)には及ばなかったものの90.0%となり、削減効果が継続

■上記の売上トレンド改善と販管費削減により営業黒字を確保

(億円)	2Q累計 (4～9月)	前年比	3Q (10～12月)	前年比	前年差	3Q累計 (4～12月)	前年比	前年差
売上高	3,357	58.2%	2,667	89.5%	▲312	6,024	68.8%	▲2,728
売上総利益	960	57.2%	734	85.9%	▲120	1,695	66.9%	▲839
販売管理費	1,138	73.9%	704	90.0%	▲78	1,843	79.4%	▲479
営業利益	△178	－	29	－	▲42	△148	－	▲359
経常利益	△170	－	36	－	▲43	△134	－	▲365
当期純利益	△367	－	20	－	+17	△347	－	▲426

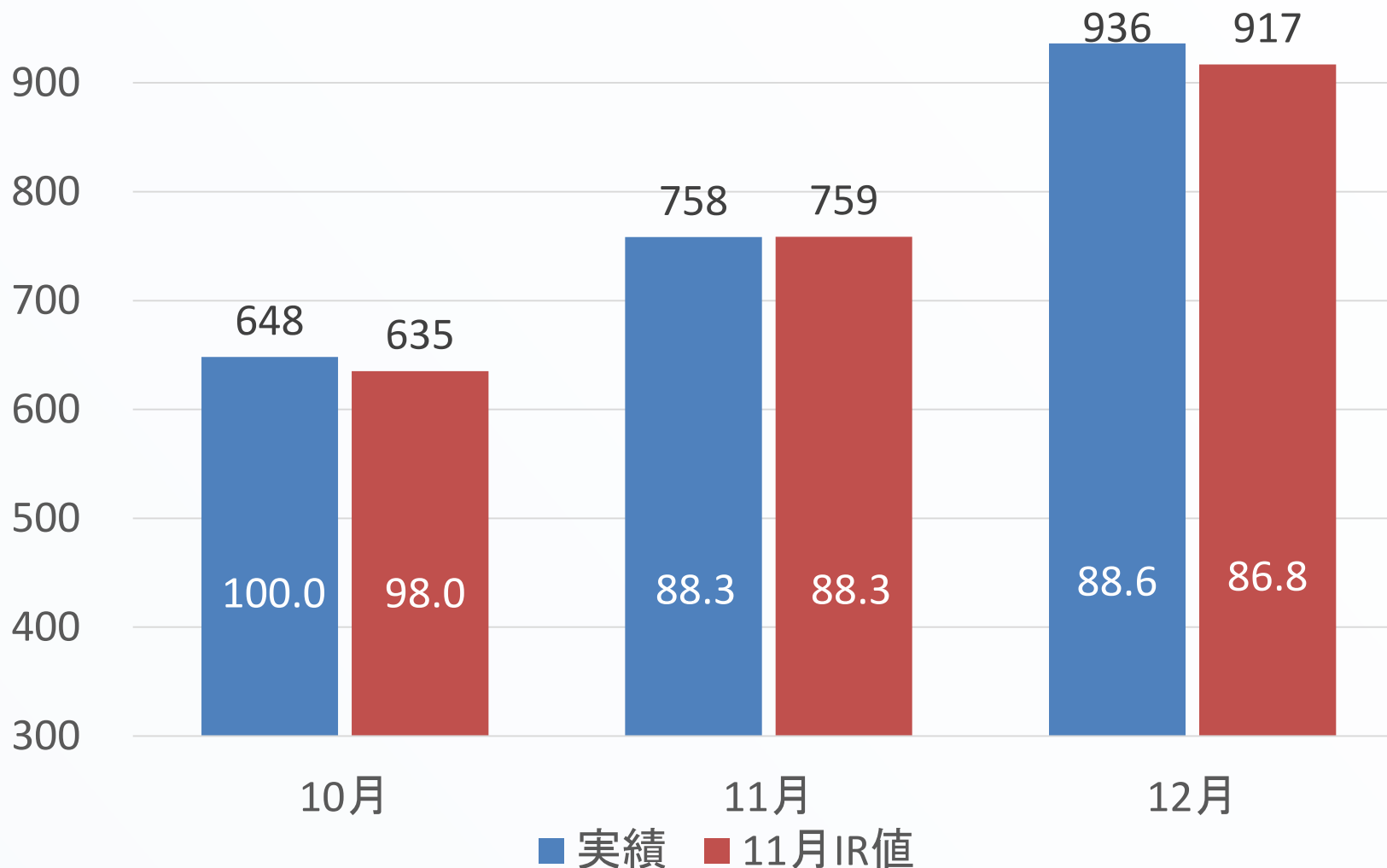
I-② 国内百貨店 売上高推移



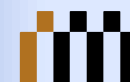
■（11月IR値比較）第3四半期国内百貨店既存店売上高

単位：億円、%

※グラフ中数値は前年比



I-③連結業績(販管費主要費目)



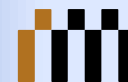
第3四半期（10月～12月）

- 人件費は、百貨店を中心に前年度までの取組により、要員数減少。加えて一部店舗閉鎖による要員減。
- 宣伝費は、継続して売上施策の見直しや中止を行い、大幅削減。

単位：億円	2Q累計 (4～9月)	前年差	3Q (10～12月)	前年差	3Q累計 (4～12月)	前年差
人件費	396	▲113	248	▲14	645	▲128
宣伝費	42	▲47	27	▲19	69	▲67
地代家賃	116	▲45	69	▲7	185	▲53
外部委託費	135	▲29	78	▲4	213	▲33
減価償却費	108	▲25	63	▲3	172	▲29
その他	339	▲139	216	▲28	556	▲168
合計	1,138	▲401	704	▲78	1,843	▲479

* 休業期間中の固定費を特別損失へ振替(2Q累計118億円)

I-④ セグメント別営業利益



第3四半期（10月～12月）

- 百貨店業は、売上基調の改善と販管費削減により収支は改善したが若干の営業赤字
- 金融業は、百貨店内および百貨店外でのカード取扱高が各々前年比95%程度まで回復し、大幅な収支改善で営業黒字が拡大
- 不動産業は、2Qまでの収支の基調に大きな変化はなく、営業黒字を確保

	2Q累計 (4月～9月)	前年差	3Q (10月～12月)	前年差	3Q累計 (4月～12月)	前年差
百貨店業	△212	▲280	△6	▲35	△219	▲316
クレジット・金融・友の会業	12	▲13	19	▲1	31	▲15
不動産業	29	▲0	14	▲1	44	▲1
その他	△7	▲18	2	▲4	△5	▲23
合計	△178	▲316	29	▲42	△148	▲359

* 合計には調整額を含んでおります。

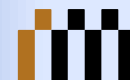


I 2020年度 第3四半期実績

II 2020年度 通期計画

III オンラインとオフラインのシームレス化 進捗

II-① 2020年度通期計画



- 緊急事態宣言を受けた足元トレンドをふまえて、売上高は150億円の下方修正
- 営業利益は、販管費削減の取組みを継続し、11月IR計画値を維持

(億円)	3Q累計実績 (4月～12月)	4Q見込 (1月～3月)	前年差	年間見込	前年差	11月IR差
売上高	6,024	1,975	▲463	8,000	▲3,191	▲150
売上総利益	1,695	534	▲157	2,230	▲997	▲80
販売管理費	1,843	716	▲30	2,560	▲510	▲80
営業利益	△148	△181	▲127	△330	▲486	—
経常利益	△134	△205	▲172	△340	▲537	—
当期純利益	△347	△102	+88	△450	▲338	—

II-②2020年度通期計画(連結キャッシュフロー)



■ 連結キャッシュフロー・NET有利子負債の推移

(億円)	上期	下期	年度	11月IR差
営業CF	△167	△13	△180	30
投資CF	△179	69	△110	10
配当・ リース債務	△33	△17	△50	—
NET有利子負債 増減	+379	△39	+340	△40



I 2020年度 第3四半期実績

II 2020年度 通期計画

III オンラインとオフラインのシームレス化 進捗

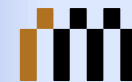
III-①オンラインとオフラインのシームレス化進捗状況



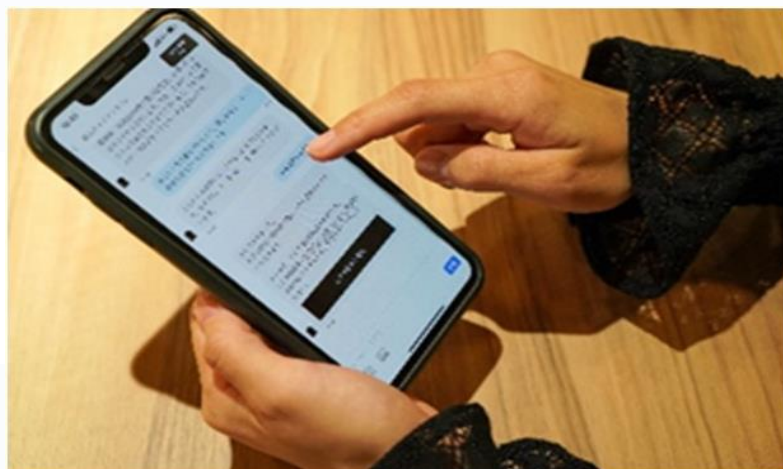
- シームレスの主要KPIはいずれも順調に推移。
- オンライン売上は、一般・ギフト・新規デジタル事業とも好調。年度では度目標310億円を上回る見込み。
- デジタルIDは、EC売上の伸長に伴って順調に推移。3Qで年度目標を上回る。

合計	2Q累計	3Q累計	年度目標
オンライン売上	133億円	246億円	310億円
デジタルID	110万ID	140万ID	130万ID

III-②三越伊勢丹リモートショッピングアプリ



- 11月25日にローンチ、リアルとECの間にある新たなチャネルにおける接客サービスをスタート。
- 伊勢丹新宿本店の婦人・紳士・特選・化粧品の一部からサービスを開始、順次対象売場・店舗を拡大。



MITSUKOSHI
ISETAN



11月25日ローンチ

アプリを通した 新しい接客スタイルの確立

場の制約にとらわれない

- ・店舗が近隣にないお客様がメンズ館で複数ブランドからギフトを購入

時間の制約にとらわれない

- ・チャットであれば営業時間外でもスタイリストにお問い合わせ可能

オンラインで実現する新たな顧客体験

- ・三越伊勢丹の店頭にいるかのようなお買物体験が可能